

令和 6 年度 第 1 回刈谷市国民健康保険運営協議会 会議録			
日 時	令和 6 年 8 月 2 6 日（月） 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 1 5 分	場 所	刈谷市役所 5 階 5 0 3 会議室
出 席 者	・被保険者を代表する委員 稲垣和久委員、中野カズヨ委員、清水榮里子委員、加藤裕子委員 ・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 辻村 享 委員、宮田泰委員、 ・公益を代表する委員 外山鉦一委員、揚張 慎一 委員、稲垣雅弘 委員、近藤澄男 委員 ・被用者保険等保険者を代表する委員 西尾 央 委員、土手新吾委員 ・当局出席者 稲垣市長、加藤福祉健康部長、杉浦福祉健康部政策監、 酒井国保年金課長、二宮課長補佐、大橋国民健康保険係長、 大田主事		
欠 席 者	・保険医又は保険薬剤師を代表する委員 富安斉委員、中川義之委員		
討議内容			
議題（１）会長及び副会長の選出について 会長には外山鉦一委員を、副会長には揚張慎一委員をそれぞれ選出した。			
議題（２）令和 5 年度国民健康保険事業報告について 事務局から資料に基づき説明を行い、議題について委員の了承を得た。			
議題（３）税率改正について 事務局から資料に基づき説明を行い、次のとおり、委員の質問に対し事務局が説明した。また、議題について委員の了承を得た。			
質 問：保険税（料）率の県内統一について、早い県ではすでに統一しているところもあるが、愛知県での保険税（料）率の統一についてはどのような議論がなされているのか。			
説 明：今年度から大阪府や奈良県では同一都道府県内どこに住んでいても、同じ所得水準であれば同じ保険税（料）となっている。愛知県では、現在は事業費納付金を算定する際に、各市の医療費水準を反映しており、それらが納付金の金額に影響しているが、令和 7 年度から段階的に医療費指数反映係数を下げていき、令和 1 1 年度には 0 にすることで、完全統一の前段階で			

ある納付金ベースの統一をはかることとしている。国としては遅くとも令和17年度までに完全統一することを掲げているため、愛知県でも、まずは納付金ベースの統一がなされたのちに、その後の計画が決まっていく予定である。

議題に引き続き、その他として「保険証の有効期限について」及び「今後の予定」を事務局より説明し、終了した。